

## 2 現実的な対応

- ① 児童・生徒の安全確保のため、総合的な対策を確立し、学校施設の改善を図る。
- ② 教職員車両の駐車場は、校地外に確保する。
- ③ 来校者車両の一時駐車のために、児童・生徒の安全に配慮しつつ、校地内にサービスエリアを設置する。
- ④ 学校経営上配慮が必要な場合は校長が判断し、サービスエリアを利用することができる。
- ⑤ 学校への公用車配置については、問題点を整理し、その在り方を研究する。

## 3 その他

- ① 現実的な対応については、平成14年4月1日から実施する。
- ② 実施に当たって必要な場合は、猶予期間を置く。
- ③ 施設改善については、段階的に実施する。

以上、報告いたします。